

九月例会御案内

(平成二十六年・通算第三三六回)

時代を刷新する会

<http://www.jidaisassin.jp>

○御案内

九月十一日(木) 正午～午後二時半

参議院議員会館 地下一階・B一〇五会議室

議題 急変する韓半島情勢と現状打開策

—— 地政学的・戦略的な観点を中心に ——

講師 高永喆先生(拓殖大学客員研究員、元韓国国防省北韓分析官・国防省日本担当官)

当団体の創立者・岸信介元総理は、万邦協和、特に東アジアの安定を志向されており、私共も、韓国や中国とかなりの交流を深めてきました。しかし、近年特に、韓国は反日を露骨に掲げ、中国も尖閣列島の領有権を主張して航空機や艦艇にて領空・領海を侵犯するなど、反日政策を取って来ております。日本としては、韓国、中国に出来るかぎりのことをしてきたつもりであつたのに、誠に心外な思いです。

そこで今回は、韓国の海軍大学卒でアメリカ国防情報学校修了、韓国海軍士官学校教官・同国防省北韓分析官、国防省日本担当官を務め、退官後、わが国の拓殖大学国際開発研究所研究員を務める高永喆先生をお招きし、その緻密な北朝鮮分析や、日米韓中の各国の政策・戦略について解説をいただくことにしました。重要課題、奮つての御参加、お待ち申し上げます。

◎ 当日会費 四千円(昼食・講師料ほか)。九月八日(月)までに欠の御連絡賜りたく。(清原記)

□御報告

去る七月十五日の月例会は、わが国の急速な人口減少が、ここ二十年ほど問題になって折から、この方面の權威の第一人・松谷明彦先生(政策研究大学院大学名誉教授、元大蔵省の主計官・大臣官房審議官)に、『人口減少の実態とその対策!』と題して、御講話いただきました。お話の内容は広範にわたりますが、以下にその要旨を掲げます。

その要旨は、日本の人口は加速度的に減少している。学者や政界筋の中には、その対策として「出生率を上げればよい」という人が多いが、私は統計資料上、それは無理だと思っている。つまり、日本の人口構成を見ると七十五歳以上の人口が非常に多い。なぜこの人口が多いかというと、戦前に国策で「産めよ増やせよ」とやって子供が沢山生まれたので戦前生まれの人が